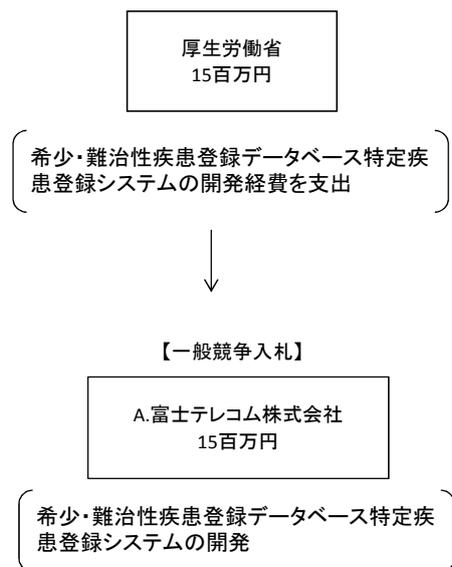


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	難病対策の推進のための患者データ登録整備事業経費			担当部局	健康局		作成責任者	
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	疾病対策課		課長：田原 克志	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	難病患者のデータを収集・登録することで、症例が比較的少なく、全国規模で研究を行わなければ対策が進まない難病について、一定の症例数を確保し、患者の症状、治療方法、転帰などを把握することにより研究の推進や医療の質の向上に結びつける。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	医療費助成の対象疾患に罹患した患者であれば医療費助成の有無にかかわらず全員が登録可能なシステムの整備を行う。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	152	31	61	131	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	▲ 87	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	65	118	61	131	
	執行額	-	65	15	-	-		
	執行率 (%)	-	100%	13%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 毎年度
	難治性疾患克服研究事業研究班からのデータ利用申請数の平成24~26年度の平均	本システムにより収集したデータを提供した研究者数	成果実績	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	難病患者データの入力数	活動実績	-	-	-	-	-	
		当初見込み	-	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y		円/件	-	-	-	-	
	X:「執行額」 Y:「データ入力数」		計算式	X / Y	-	-	-	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	社会保障関係情報化業務庁費	61	131	システムの整備に必要な経費の増 「新しい日本のための優先課題推進枠」131百万円				
	計	61	131					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	全国の難病患者データを収集するためのシステムに関する事業であり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	全国規模のシステムであり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	難病患者の臨床データを全国的に収集するシステムであり、難病の研究推進のために、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札による業者選定をしている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	システム開発経費にのみを支出している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	入札減による不用である。	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	平成27年度においても引き続きシステムの構築を行う。			
	改善の方向性	引き続きシステムの開発を進める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	執行実績を踏まえ、適切な調達スケジュールでシステム開発を行うために必要な予算額を確保すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	関係部局と連携を密に行い、今後の見込みを検証して事業に必要な予算額を確保しつつ、適切な執行に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	新25-009	平成26年度	156		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.富士テレコム株式会社			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	開発費	システム開発経費	15			
	計		15	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士テレコム株式会社	希少・難治性疾患登録データベース特定疾患登録システムの開発	153		24%